

福島県立医科大学

第3回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会

次第

日時：平成24年7月7日（土）13：00～16：00

場所：東京駅八重洲カンファレンスルーム 1-D

1 開 会

2 挨拶

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
センター長 山下俊一

3 委員紹介

4 議 事

【報 告】

(1) 第2回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会について

【協 議】

- (1) 甲状腺検査（二次検査）後の対応について
- (2) 県外施設の認定、公表について
- (3) 甲状腺検査（一次検査）の結果報告について
- (4) 今後の県内での認定講習会への対応

5 その他

6 閉 会

配布資料

- 第3回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 次第
- 第3回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 名簿
- 第3回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 座席表

報告1 第2回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 記録

- 協議 2-1 県外検査実施機関回答状況
- 協議 2-2 甲状腺検査対象者 都道府県別避難状況(平成23年11月現在)
- 協議 3-1 甲状腺検査(一次検査)の判定区分別(結節・嚢胞)による集計
- 協議 3-1(参考) 甲状腺検査(一次検査)実施状況
- 協議 3-2 甲状腺検査(一次検査)の判定・年齢・性別による集計(H24年度実施分)
- 協議 4-1 甲状腺検査講習会概要

第3回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 名簿

【委員】

	所属機関	職	氏名	出欠	備考
1				欠	
2				出	
3				欠	
4	福島県立医科大学	放射線健康管理学講座教授	大津留 晶	代理	緑川早苗先生が代理出席
5				出	
6				出	
7				代理	が代理出席
8				欠	
9				欠	
10				欠	
11				欠	
12				出	
13				出	
14				出	
15				欠	
16				出	
17				出	
18				出	
19				出	
20				欠	
21				出	

※50音順にて作成

【協力委員】

	所属機関	職	氏名	出欠	備考
1				出	

【福島県立医科大学 関係教職員】

	所属機関	職	氏名	出欠	備考
1	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター長	山下 俊一	出	
2	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 臨床部門 副部門長（甲状腺検査担当）	鈴木 眞一	出	
3	福島県立医科大学	医療工学講座 准教授	福島 俊彦	出	
4	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 広報部門長	松井 史郎	出	

東京駅八重洲カンファレンスセンター
カンファレンスルーム1D

スクリーン

福島県立医科大学
大津留 晶
(代理) 緑川 早苗

プロ
ジェク
ター

福島県立医科大学
山下 俊一

福島県立医科大学
鈴木 眞一

松井 史郎
福島県立医科大学

福島 俊彦
福島県立医科大学

事務局席

出入口

第 2 回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 概要記録

日時：平成 23 年 12 月 18 日（日）14：00～17：30

場所：東京八重洲ホール 3階 301会議室

1 報告

- (1) 第 1 回委員会議事録
資料 1 に基づき、前回の協議内容等について報告が行われた。
- (2) 現在までの進捗状況（資料 2）
資料 2 に基づき、甲状腺検査の実施状況について報告が行われた。

2 協議

- (1) 結果の開示（資料 3）
資料 3 表面に基づき、結果の通知文書についての協議が行われ、文言について修正案が委員から提示された。
- (2) A2 判定に対する説明文（資料 3）
資料 3 裏面に基づき、結果についての解説についての協議が行われ、文言について修正案が委員から提示された。
- (3) 二次検査の実施方法
資料 4 に基づき、二次検査の案内文書についての協議が行われ、文言について修正案が委員から提示された。
- (4) 県外の施設認定、一次検査、二次検査、機器の基準、データの取扱、契約
資料 5 に基づき、県外での検査実施に向けた今後の取り組みについて協議が行われ、追加すべき施設等についても意見が出された。
- (5) 県内での講習会、説明会等
一般市民や地元医師会関係者等に対して、甲状腺検査についての正しい知識の普及を図るとともに、協力や支援を促すための環境づくりを進めるため、講習会や説明会を積極的に開催していくことについて意見が交わされた。
また、これら講習会等には当部会の委員を招聘することを想定している。
- (6) ローカルルールによる地元医師の参加
甲状腺検査を長期的に継続するために必要な人材を県内において確保するため、県内の医師・技師等に対して、甲状腺超音波検査に携わることができるローカルな認定資格を付与する計画について協議が行われた。
講習会を実施すること、また、資格認定のためには試験を実施すべきとの意見が出された。
- (7) 県外施設認定後の対応
県外施設での準備が整い次第、対象者に案内をしていくことになるが、検査の受けられる順序等について公平性を確保するための配慮が必要となる。

県外検査実施機関回答状況(7月6日現在)

協議2-1

医療機関			住所	専門医名	備考
No.	医療機関名	参加の可否 二次			
1	札幌医科大学附属病院		〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目291番地		
2	北海道大学病院		〒060-0814 北海道札幌市北区北14条西5丁目		
3	上條内科クリニック		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西14丁目3-1 大通丸一ビル3F		
4	弘前大学		〒036-8563 青森県弘前市本町53		
5	栗原クリニック		〒020-0015 岩手県盛岡市本町通1丁目16-4		
6	秋田大学		〒010-8543 秋田県秋田市広面字瀬沼44-2		
7	森洋子クリニック		〒980-6110 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 71410F		
8	東北大学病院		〒980-0872 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1		
9	山本医院△		〒981-2311 宮城県伊具郡丸森町字町西62-1		
	山形大学		〒990-9585 山形県山形市飯田西2-2-2		
11	山形市立病院済生館		〒990-0042 山形県山形市七日町1丁目3-26		
12	群馬大学医学部付属病院		〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番15号		
13	栃木県立がんセンター		〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南4-9-13		
14	自治医科大学附属病院		〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1		
15	獨協医科大学附属病院		〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880		
16	佐野厚生総合病院		〒327-8511 栃木県佐野市堀米町1728		
17	獨協医科大学日光医療センター		〒321-2523 栃木県日光市高徳632		
18	東京医科大学茨城医療センター		〒300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央3-20-1		
19	筑波大学附属病院		〒305-0005 茨城県つくば市天久保2丁目1-1		
	日立総合病院		〒317-0077 茨城県日立市城南町2丁目1-1		
21	水戸医療センター		〒311-3117 茨城県東茨城郡茨城町桜の郷280		
22	常陸大宮済生会病院		〒319-2256 茨城県常陸大宮市田子内町3033-3		
23	水府病院		〒311-4141 茨城県水戸市赤塚1丁目1		
24	狭山病院		〒350-1323 埼玉県狭山市鶴ノ木1-33		
25	国立がんセンター東病院		〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6丁目5-1		
26	千葉大学医学部附属病院		〒260-8677 千葉県千葉市中央区安鼻1-8-1		
27	千葉県こども病院		〒260-0007 千葉県千葉市緑区辺田町579-1		
28	日本医科大学千葉北総病院		〒270-1694 千葉県印西市鎌刈1715		
29	帝京大学ちば総合医療センター		〒299-0111 千葉県市原市姉崎3426-3		
30	東邦大学医療センター大森病院		〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1		
31	有明病院		〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8-31		
32	公立昭和病院		〒187-0004 東京都小平市天神町2丁目450		
33	東京女子医科大学附属病院		〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1		

医療機関			住所	専門医名	備考
No.	医療機関名	参加の可否			
34	池袋病院		〒170-0013 東京都豊島区東池袋3丁目5-4		
35	アーバンハイツクリニック		〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1丁目16-2 7-11ハイツ巢鴨B 2F		
36	東京大学医学部附属病院		〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1		
37	日本医科大学附属病院		〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5		
38	東京慈恵会医科大学附属病院		〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25-8		
39	虎の門病院		〒105-8470 東京都港区虎ノ門2丁目2番2号		
40	伊藤病院		〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4丁目3-6		
41	国立成育医療センター		〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2丁目10-1		
42	山近記念総合病院		〒256-0815 神奈川県小田原市小八幡3-19-8		
43	北里大学病院		〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里1-15-1		
44	日本医科大学武蔵小杉病院		〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396		
45	呉クリニック		〒251-0038 神奈川県藤沢市鶴沼松が岡3丁目24-23		
46	神奈川県立がんセンター		〒241-0815 神奈川県横浜市旭区中尾1丁目1-2		
47	県立こども医療センター		〒232-8555 神奈川県横浜市南区六ツ川12-138-4		
48	横浜市立大学附属市民総合医療センター		〒232-0024 神奈川県横浜市南区蒲舟町4丁目57		
49	昭和大学横浜市北部病院		〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1		
50	甲州市立勝沼病院		〒409-1316 山梨県甲州市勝沼町勝沼950		
51	山梨大学医学部附属病院		〒409-3898 山梨県中央市下河東1110		
52	飯田市立病院		〒395-0814 長野県飯田市八幡町438		
53	増田医院		〒385-0022 長野県佐久市大字岩村田2381-12		
54	長野松代総合病院		〒381-1231 長野県長野市松代町松代183		
	相澤病院		〒390-0814 長野県松本市本庄2丁目5-1		
56	信州大学医学部附属病院		〒390-0802 長野県松本市旭3丁目1-1		
57	新潟大学		〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通1番町754		
58	かみいち総合病院		〒931-0391 富山県中新川郡上市町法音寺51		
59	金沢医科大学病院		〒920-0265 石川県河北郡内灘町大学1丁目1		
60	福井県立病院		〒910-0846 福井県福井市四ノ井2丁目8-1		
61	桜ヶ丘総合病院		〒424-0836 静岡県静岡市清水区桜ヶ丘町13-23		
62	東泉クリニック		〒420-0033 静岡県静岡市葵区昭和町5-4 平野ビル5F		
63	石垣クリニック		〒430-0947 静岡県浜松市中区松城町217-1		
64	浜松医科大学附属病院		〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号		
65	岡崎市民病院		〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町五所合3-1		

医療機関			住所	専門医名	備考
No.	医療機関名	参加の可否			
66	藤田保健衛生大学病院		〒470-1101 愛知県豊明市春掛町田楽7-98		
67	豊川市民病院		〒442-8561 愛知県豊川市光明町1丁目19番地		
68	名古屋大学医学部附属病院		〒466-0065 愛知県名古屋市中区鶴舞町65		
69	岐阜大学医学部附属病院		〒501-1112 岐阜県岐阜市柳戸1-1		
70	多治見病院		〒507-0042 岐阜県多治見市前畑町5丁目161		
71	松坂中央総合病院		〒515-0818 三重県松阪市川井町小望102		
72	伊勢赤十字病院		〒516-0805 三重県伊勢市御園町高向810		
73	国立病院機構京都医療センター		〒612-0861 京都府京都市伏見区深草向畑町1-1		
74	須川クリニック		〒604-8105 京都府京都市中京区高倉通御池下る亀甲屋町606		
75	滋賀医科大学医学部附属病院		〒520-2121 滋賀県大津市瀬田月輪町		
76	近畿大学医学部奈良病院		〒630-0227 奈良県生駒市乙田町1248-1		
77	りんくう総合医療センター		〒598-0048 大阪府泉佐野市りんくう往来北2-23		
78	すみれ病院		〒536-0001 大阪府大阪市城東区古市1丁目20-85		
79	大阪警察病院		〒543-0035 大阪府大阪市天王寺区北山町10-31		
80	大阪市立大学医学部附属病院		〒545-8586 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7		
81	大阪大学医学部附属病院		〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号		
82	和歌山県立医科大学附属病院		〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺811-1		
83	立花病院		〒661-0025 兵庫県尼崎市立花町4丁目3-18		
84	隈病院		〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通8丁目2-35		
85	岡山医療センター		〒701-1154 岡山県岡山市田益1711-1		
86	岡山大学病院		〒700-0914 岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5-1		
87	川崎医科大学附属病院		〒701-0192 岡山県倉敷市松島577		
88	土谷総合病院		〒730-0811 広島県広島市中区中島町3-30		
89	鳥取大学医学部附属病院		〒683-0826 鳥取県米子市西町36-1		
90	鳥根大学医学部附属病院		〒693-0021 鳥取県出雲市塩冶町89-1		
91	山口大学医学部附属病院		〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1		
92	愛媛大学附属病院		〒791-0204 愛媛県東温市志津川		
93	徳島市民病院		〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34番地		
94	高松赤十字病院		〒760-0017 香川県高松市番町4丁目1-3		
95	高知大学医学部附属病院		〒783-0043 高知県南国市岡豊町小蓮185-1		
96	産業医科大学		〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医ヶ丘1番1号		
97	やましたクリニック		〒812-0034 福岡県福岡市博多区下呉服町1-8		
98	九州大学大学病院		〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3-1-1		
99	久留米大学		〒830-0011 福岡県久留米市旭町67		
100	小池病院		〒840-0861 佐賀県佐賀市嘉瀬町大字中原中原1922-2		
101	長崎医療センター		〒856-8562 長崎県大村市久原2丁目1001-1		
102	長崎大学附属病院		〒852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7番1号		
103	野口病院		〒874-0932 大分県別府市野口中町6-33		
104	田尻クリニック		〒862-0950 熊本県熊本市水前寺2丁目6-3		

医療機関				住所	専門医名	備考
No.	医療機関名	参加の可否	二次			
105	宮崎大学医学部附属病院			〒 889-1601 宮崎県宮崎市清武町木原5200		
106	鹿児島大学病院			〒 890-0075 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1		
107	浦添総合病院			〒 901-2132 沖縄県浦添市伊祖4丁目16-1		
108	琉球大学医学部附属病院			〒 903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地		



甲状腺検査対象者 都道府県別避難状況(平成23年11月現在)

(単位 人)

	都道府県名	対 象 者				都道府県名	対 象 者				都道府県名	対 象 者		
			うち 避難地域	うち 受診済者				うち 避難地域	うち 受診済者				うち 避難地域	うち 受診済者
北海道	北海道	483	142	31	中部地方	富山県	93	25	1	中国地方	島根県	43	31	0
	青森県	279	115	45		静岡県	307	161	62		山口県	46	19	3
東北地方	岩手県	254	106	61		山梨県	242	162	94	四国地方	香川県	32	10	1
	秋田県	312	154	50		長野県	266	103	29		徳島県	9	1	0
	宮城県	2,437	1,345	1,199		愛知県	309	95	28		愛媛県	39	20	4
	山形県	1,268	850	701		岐阜県	99	45	2		高知県	21	5	0
	茨城県	1,223	788	473		三重県	69	23	2		九州地方	福岡県	178	60
関東地方	栃木県	901	466	280		和歌山県	21	9	1	佐賀県		28	8	2
	群馬県	540	354	185		滋賀県	76	17	2	長崎県		42	11	0
	埼玉県	2,064	1,262	648		奈良県	47	14	1	大分県		58	32	7
	千葉県	1,254	741	293	京都府	173	55	2	熊本県	26		5	0	
	東京都	2,267	979	365	大阪府	252	88	12	宮崎県	39		13	1	
	神奈川県	1,384	640	208	兵庫県	184	68	15	鹿児島県	33		14	2	
	中部地方	新潟県	1,721	1,168	466	岡山県	65	24	1	沖縄県		131	36	3
福井県		116	81	20	中国地方	広島県	90	37	4	総計		19,644	10,448	5,339
石川県		95	55	20		鳥取県	28	11	2					

甲状腺検査（一次検査）の判定区分別（結節・嚢胞）による集計

単位【上段】人
【下段】%

平成24年7月4日現在（6月8日検査分まで結果確定）

	受診者 (A)	結果確定数(B) ※6/8検査分まで確定 進捗状況 (B)/(A)	(B)の判定区分別人数(人) (B)の判定区分別割合(%)				結節(人)		嚢胞(人)	
			A1	A2	B	C	結節の割合(%)		嚢胞の割合(%)	
							5.1mm以上	5.0mm以下	20.1mm以上	20.0mm以下
H24 福島市	22,804	11,749 51.5	6,365 54.2	5,341 45.4	43 0.4	0 0.0	43 0.4	19 0.2	0 0.0	5,343 45.5
H24 福島市以外※	92	52 56.5	33 63.5	19 36.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 36.5
H23年度実施分	38,114	38,114 100.0	24,469 64.2	13,459 35.3	186 0.5	0 0.0	184 0.5	201 0.5	1 0.0	13,382 35.1
合計	61,010	49,915 81.8	30,867 61.8	18,819 37.7	229 0.5	0 0.0	227 0.5	220 0.4	1 0.0	18,744 37.6

※福島市以外には南相馬市、伊達市、田村市、川俣町、楡葉町、富岡町、双葉町、浪江町、広野町、飯館村が含まれる。

甲状腺検査(一次検査)実施状況

単位【上段】人
【下段】%

2012年7月4日現在

	対象者数 (人) A	受診者数 (人) B	受診率(%) B/A	年齢階層別受診者数(人)				Bのうち県外 居住者数(人) C	県外居住者 受診率(%) C/B
				年齢階層別内訳(%)					
				0~5歳	6~10歳	11~15歳	16~18歳		
H24 福島市	53,619	22,804	-	4,595	9,157	7,634	1,418	305	1.3
7/4現在検査状況	25,735	22,804	88.6	20.1	40.2	33.5	6.2		
H24 福島市以外※	-	92	-	25	26	33	8	11	12.0
				27.2	28.2	35.9	8.7		
H23年度 実施分	47,766	38,114	79.8	9,902	10,662	11,466	6,084	5,183	13.6
				26.0	28.0	30.1	15.9		
合計	101,385	61,010	-	14,522	19,845	19,133	7,510	5,499	9.0
				23.8	32.5	31.4	12.3		

※福島市以外には、南相馬市、伊達市、田村市、川俣町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、広野町、飯館村が含まれる。

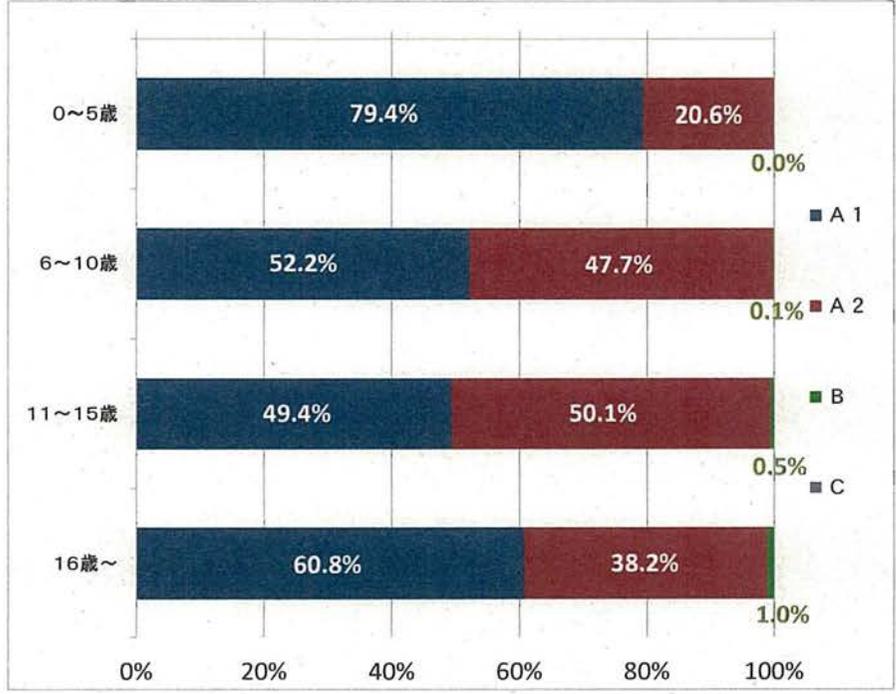
甲状腺検査（一次検査）の判定・年齢・性別による集計（H24年度実施分）

平成24年7月4日現在（6月8日検査分まで結果確定）

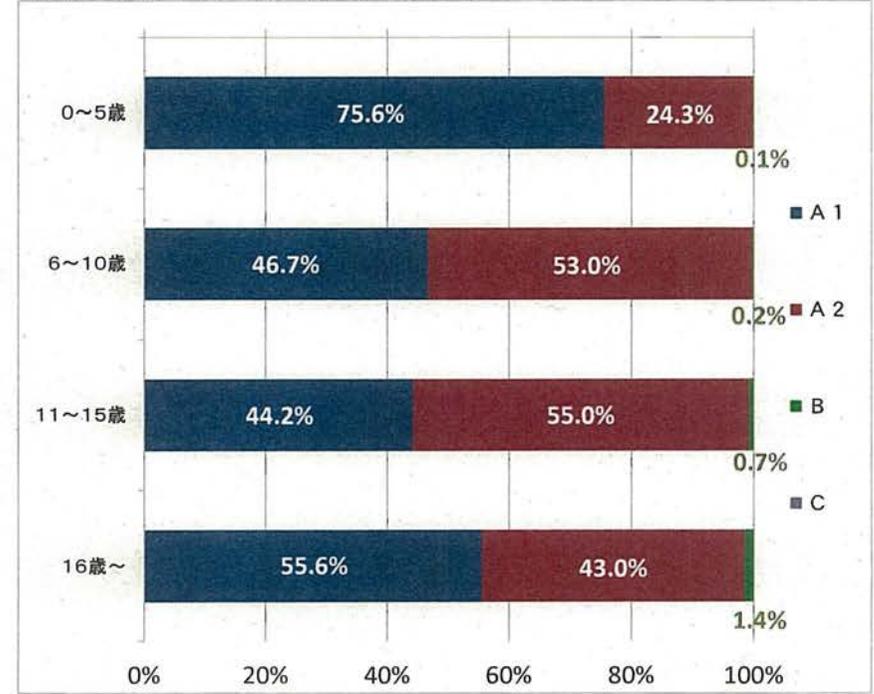
（単位 人）

判定・性別 年齢区分	A1			A2			B			C			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
0～5歳	920	782	1,702	238	252	490	0	1	1	0	0	0	1,158	1,035	2,193
6～10歳	1,199	1,053	2,252	1,094	1,195	2,289	2	5	7	0	0	0	2,295	2,253	4,548
11～15歳	1,101	963	2,064	1,116	1,198	2,314	11	16	27	0	0	0	2,228	2,177	4,405
16歳～	186	194	380	117	150	267	3	5	8	0	0	0	306	349	655
合計	3,406	2,992	6,398	2,565	2,795	5,360	16	27	43	0	0	0	5,987	5,814	11,801

年齢階層別判定区分の分布【男性】



年齢階層別判定区分の分布【女性】



1 講習会の目的

甲状腺検査にあたるスタッフにおいては、甲状腺超音波検査に係る高度な専門知識と手技が必要であるため、甲状腺超音波検査に関する知識を普及し、甲状腺検査に携わる医師・技師の知識・手技の向上を図るとともに、甲状腺検査を長期的に継続するために必要な人材育成を図る。

さらには、今後福島県立医科大学とともに甲状腺検査を実施する県内における検査拠点（医療機関等）を整備することを目的とする。

2 講習会の実施状況

- 第1回 平成24年3月4日（日）
開催地：福島市（コラッセふくしま）
参加者：137名（うち医師76名、コメディカル61名）
- 第2回 平成24年6月10日（日）
開催地：郡山市（郡山ビューホテル）
参加者：70名（うち医師43名、コメディカル27名）
- 第3回 平成24年7月22日（日）
開催地：いわき市（いわきワシントンホテル）
参加者：100名（予定）
- 第4回：平成24年9月2日（日）
開催地：会津若松市（ホテルニューパレス）
参加者：未定

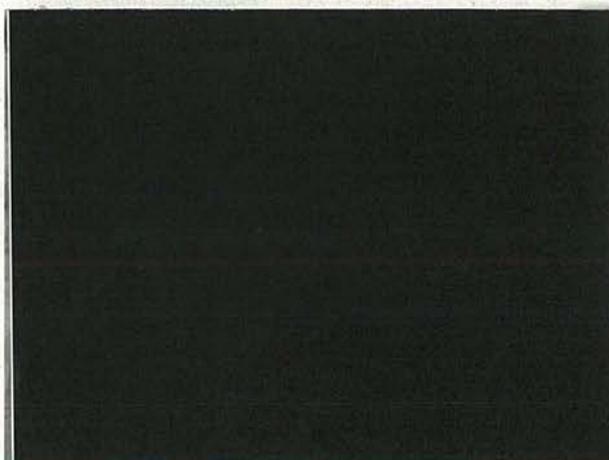
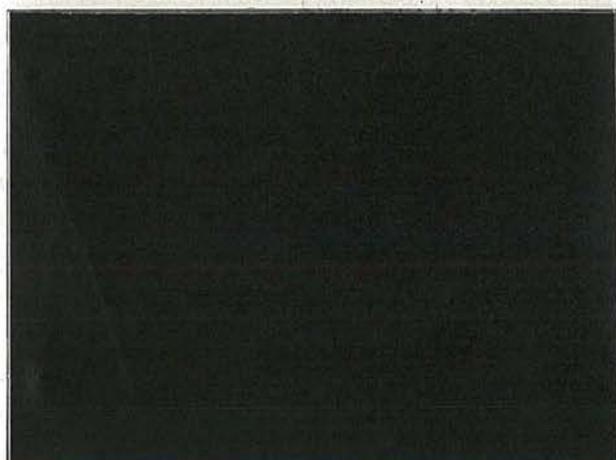
3 講習会の内容

●講演（座学）

- ・「甲状腺結節の超音波診断について」 公立昭和病院 貴田岡 正史 先生
- ・「甲状腺結節の穿刺吸引細胞診と病理所見について」 隈病院 廣川 満良 先生
- ・「福島県県民健康管理調査における甲状腺検査の現状と展望」 福島県立医科大学 鈴木 眞一 先生

●実習（ハンズオンセミナー）

- ・甲状腺超音波診断機器を用いた画像診断のハンズオン講習会



今後の検査実施体制の構築（参考）

●実施スケジュール

平成23年10月から平成26年3月までに、先行検査（現状確認のための検査）として対象全県民に検査を実施する。

また、平成26年4月以降は、本格調査として20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに検査を行う。

	事項	時期	実施場所	対象者
検査 1回目	先行検査	平成23年10月 ～11月	福島県立医科大学	計画的避難区域（以下「先行区域」という。）の対象者の一部（川俣町山木屋地区、浪江町、飯舘村）
	全県先行検査	平成23年11月～ 平成26年3月	保健センター、公民館、学校等の施設 〔福島県立医科大学医師等の派遣、県内外の医師等の協力により実施〕	先行区域内の未実施者及び先行検査以外の対象者
2回目 以降	全県本格検査	平成26年4月 以降	県内の検査拠点施設や県外の医療機関等	上記「対象者」全員 ※20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに検査を実施

●当分の間は、平成23年度同様**医科大学を中心とした検査実施体制**をコアとして検査を実施しながら、平成26年度以降の本格検査を見据えて、講習会を実施しながら、次のとおり県内において検査可能となる検査拠点（県内医療機関）を整えていく。

- ・ 県内医療機関の参画
- ・ 県内医療機関の専門性の向上
- ・ 県内医療機関において、円滑に検査が実施できるような仕組みづくり（具体的には）
- ・ **認定医師（検者）の育成**
 - 医大が主催する講習会への参加（上記実施予定）
 - 医大が実施する検査への参加
- ・ **県内検査拠点（県内医療機関）における受付、検査実施、画像保存システムの構築**
- ・ 順次県内検査拠点（県内医療機関）での検査実施に移行する。

→平成26年度からの本格検査からは、**県内検査拠点（県内医療機関）**においても、実施できる体制を検討していく。

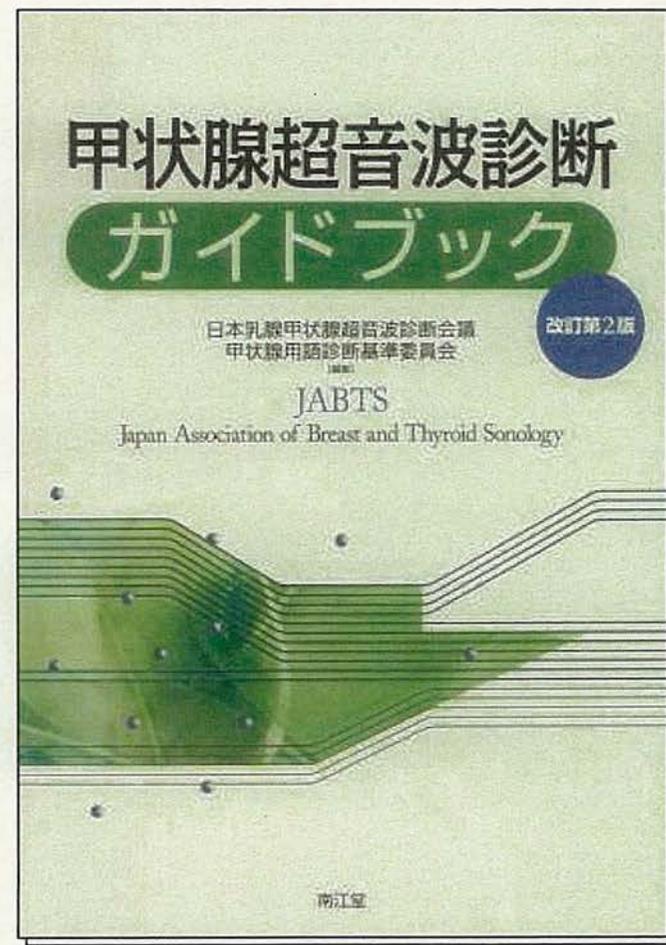
福島県甲状腺検査講習会

甲状腺超音波検査

機器の条件、操作法 -1

使用装置

- リアルタイム超音波診断装置を用いる。
- 電子リニア方式。
(電子マイクロコンベックス方式を含む)
- 周波数10MHz以上のプローブを用いる。
- 血流情報が評価可能なドプラ機能を備えていること。



機器の条件、操作法 -2

検査の実施

<観察項目>

(a) 甲状腺全体の観察項目

- I 甲状腺の形状
- II 甲状腺の大きさ

(b) 結節性甲状腺腫の観察項目

- I 結節の位置と大きさ
 - II 嚢胞の位置と大きさ
- 多発性の有無

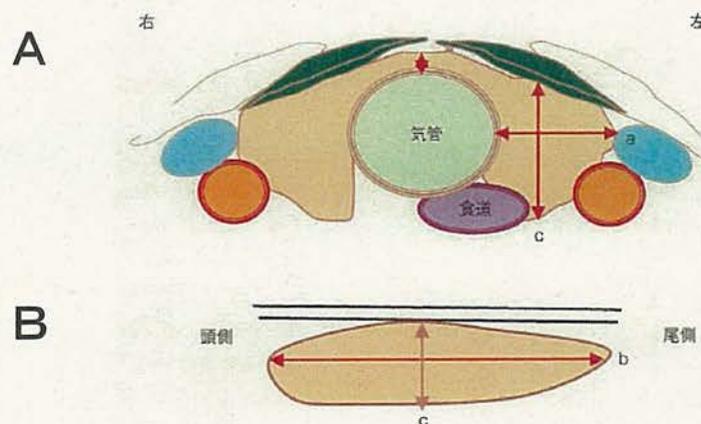


図1 甲状腺の計測 (下側からの観察)

今回は、A (1枚ないし2分割)、
B (左右) を画像として保存
左右ごとに、a、c、bを計測

甲状腺超音波診断ガイドブック 改訂第2版:10,2012

結節があれば最大径のもの
の動画を保存 (数秒)
疑問箇所も動画保存

甲状腺超音波検査の手技 - 1

A. 体位

- 被験者を仰臥位にし、枕等を頸背部におき頸部を十分に伸展させる。

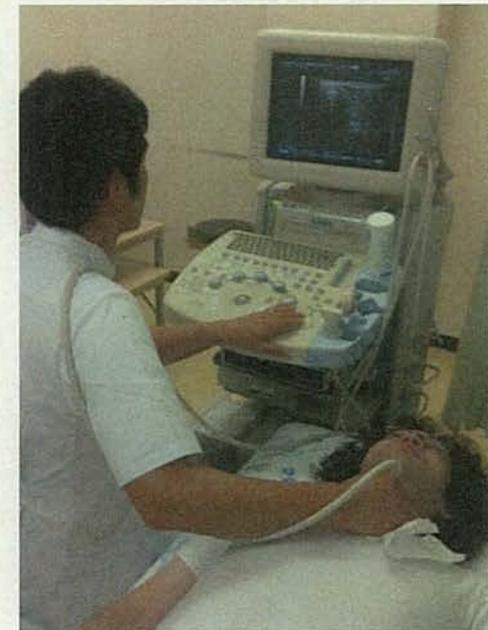
B. 探触子の持ち方、圧迫、入射角について

- スムーズに観察するために、探触子のコードは肩にかける。
- ブレを少なくするため、探触子はできるだけ下部を把持する。
- 探触子は軽く把持し、手首の力を抜いてフェザータッチで操作し、ビームが皮膚に対して垂直に入るように配慮する

C. 観察範囲は広く

甲状腺においては、予想外の部位にも異所性に甲状腺が存在することもあり、できるだけ広く頸部全体を観察すべきである。

参考資料



甲状腺超音波検査の手技-2

1. 患者登録（IDは甲状腺超音波レポートの受付番号欄に記載された7桁の番号で

2. 検査開始

尾側→頭側（右葉、左葉）にスキャンし、結節、嚢胞の有無を観察

結節があれば

最大結節の位置を記載

（該当する番号にレ点を入れる）

最大結節の最大径を測定、記載

結節が複数あるかを記載

位置がわかる画像（ボディーマーク）
最大径の測定の静止画の記録を

☆血流と動画を必ず保存する

胸腺は結節としない（その他の異所性胸腺にレ点を入れる）

嚢胞があれば

最大嚢胞の位置を記載

（該当する番号にレ点を入れる）

最大嚢胞の大きさを測定、記載

嚢胞が複数有るかを記載

位置がわかる画像（ボディーマーク）
最大径の測定の静止画の記録を

充実性病変を伴う嚢胞（嚢胞内結節）は結節として取り扱う

（大きさは嚢胞部分を含めて最大径とする）

甲状腺超音波検査の手技-3

甲状腺体積の測定（未就学児童も可能な限り縦径測定を行う）

横径、厚み、縦径を計測し、レポートに記載。
各径を測定している静止画を記録する（最大横断面、最大縦断面）

その後、気になる場所は静止画、血流、動画などで撮影する。

後で、判定委員会で検討する。

→レポート用紙のチェックボックスにチェックを入れ、
集計表に記入する。（福島医大実施例）

3. 検査終了
検査施行者のサイン記入。

甲状腺超音波検査の手技-4

参考資料

乳幼児の場合

- 1) 母親に抱きかかえてもらった状態での操作を行う場合もある
- 2) ベッドの両側にスペースをおき、右側にエコーおよび実施者、対側に母親や看護師などが付き添う場合も
- 3) 計測等は施行後にまとめて行う
- 4) 小学生未満では最大横断像1枚
場合によっては2分割画面で1枚撮像のみ



＜＜追記＞＞

- 実際施行してみると0歳でも縦断面像は撮像可能（プローブを水平から徐々にたてていくと容易）
- 仰向けに寝かせるのが一番無難
- 頭側に保護者（介助者）がついて、子供を頭側の方に注意を引きつけると頸部の進展につながり施行しやすくなる。
- 泣いていても、フリーズ後、メモリ再生コマ送り機能を活用し、使用できる部分で静止して保存する。横断1枚、左右縦各1枚を保存後にゆっくりと計測し、記録に必要な6項目が揃っていたことを確認後に、被検者を返し、次の検者を入れる準備をする。

甲状腺全体の観察項目

甲状腺の形状

参考資料

- びまん性甲状腺腫のうち、単純性甲状腺腫、Basedow病、慢性甲状腺炎は、両葉共に腫大することが多い。
- 亜急性甲状腺炎や急性化膿性甲状腺炎は、病変部が腫大することが多い。
- 慢性甲状腺炎では、甲状腺前面の凹凸不整を認めることがあり、峡部の肥厚が著明である。

(a) 甲状腺全体の観察項目

II 甲状腺の大きさ

参考資料

- 甲状腺各径の測定
- 体積測定

各側葉体積 =
 $(a \times b \times c) \times \pi / 6$

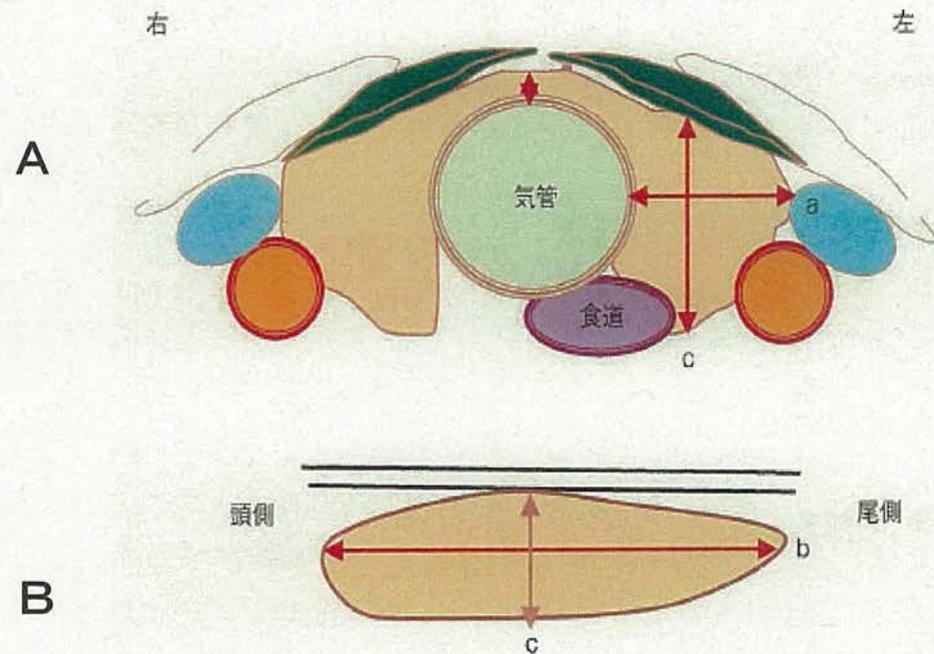


図1 甲状腺の計測 (下側からの観察)

甲状腺結節(腫瘤)超音波診断基準

	〈主〉				〈副〉	
	形状	境界の 明瞭性・性状	内部エコー		微細高エコー	境界部 低エコー帯
			エコーレベル	均質性		
良性	整	明瞭 平滑	高～低	均質	(-)	整
悪性	不整	不明瞭 粗雑	低	不均質	多発	不整 無し

※ 一次検査は嚢胞(充実性部分を伴わない)と結節を判定する。最大径を記載するので、通常は上記診断基準は使用しない。しかし、最大でなくとも明らかに上記基準で悪性が強く疑われる場合は、コメントに記載していただき後日医大で判定する。

甲状腺超音波診断機器を用いた 画像診断のハンズオン講習会

○一般目標

甲状腺、頸部の超音波正常解剖を理解し、甲状腺超音波検査が実施できる。

○行動目標

超音波画像で、甲状腺、気管、食道、総頸動脈、内頸静脈、上甲状腺動静脈、甲状腺下極を同定し、描出できる。
甲状腺の、横径、厚さ、縦径を測定できる。